

笑顔 団結 思いやり～人間力を大切にした学年へ～

明石市立朝霧中学校

第1学年 学年通信

平成29年11月29日

第43号

SHINRYOKU ～新緑新力～



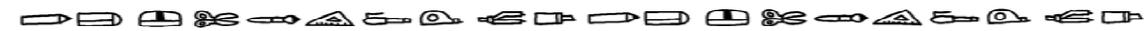
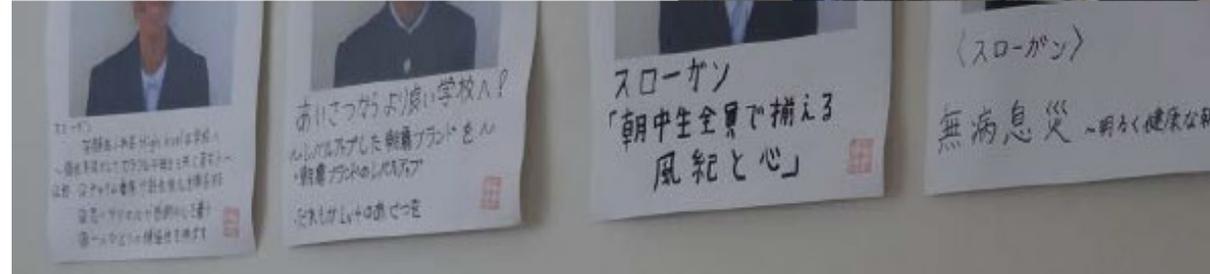
選挙運動が始まっています！ ～選挙では清き一票を～

昨日から生徒会役員選挙のための活動が始まりました。朝のアピールと学級訪問で先輩方の公約を確認したり、質問したりと新緑たちも、先輩方を支えようとする気持ちが強くなってきたのではないのでしょうか。

先輩方も初めてのことばかりだと思います。朝霧中学校のことを真剣に考えて臨んだ選挙活動ですから、みんなも他人事のように考えるのではなく、真剣に臨んでほしいと思います。

人の話を聞く態度はどうか？笑ったり、ふざけたような質問をしたりはしていませんよね。12月1日の選挙の日にはしっかり自分の考えをもって臨みましょう。

学級訪問は今日もあります。先輩が気持ちよく話せるような雰囲気づくりをよろしくお願い致しますね。



提出物をしっかり出しきろう

期末考査が終わり、ホッとしている頃だと思います。でも、油断大敵！提出物は出しきれているでしょうか？出した人も再提出になってないでしょうか？

まず期限に出すのは大人の社会では当たり前のこと、その上でクオリティ（質）も求められるのが社会人です。みんなの提出物はどうでしょうか？解答を写して終わり、読めないような乱れた文字で書いて終わり、でないように、自分のためにしっかりと取り組みをしてくださいね。最終的に出せない人は来週居残り期間を設けますので、それまでには出せるよう頑張りましょう。

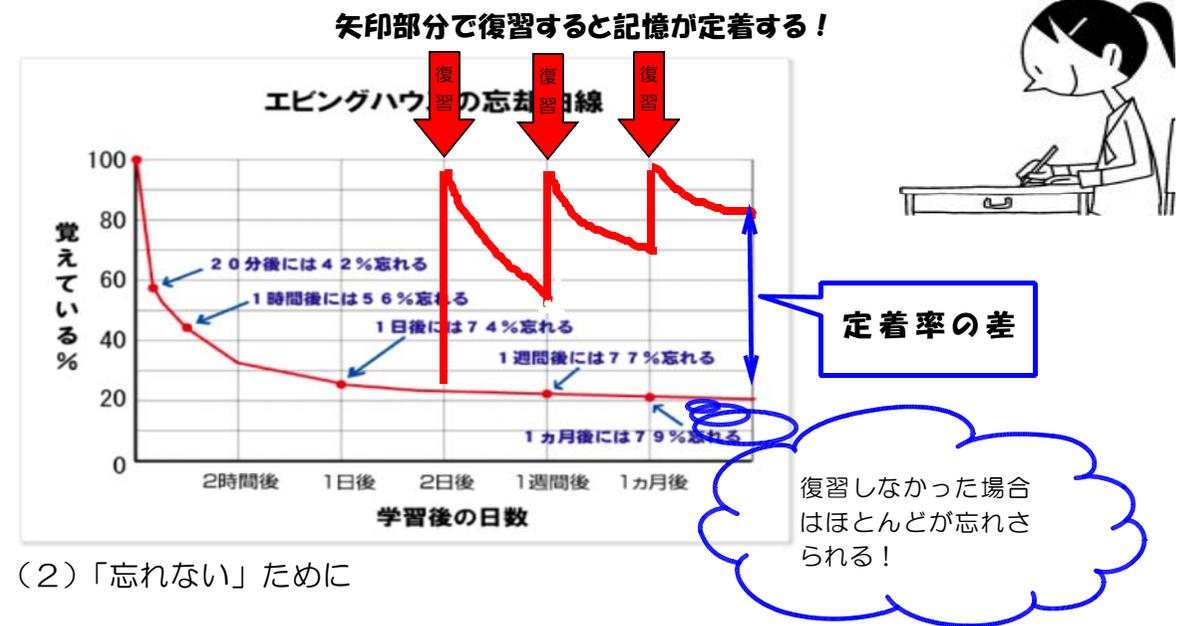
期末の解き直しはしましたか？

～覚えたことを忘れる…ということ～

一度「覚えた」ことを「忘れた」り、「できた」ことが「できなく」なることはよくあることです。どうすれば「覚えた」ことや「できた」ことを定着させることができるか。それが勉強の重要なポイントです。

(1) 「忘れる」ことについて

興味のないことや、理解できていないことは、覚えたことの大部分は下のグラフのように急速に忘れていきます。テストの前日に覚えても、当日に答えることができないことがあるのはそのためです。



(2) 「忘れない」ために

① 繰り返しとりくむ

上のグラフのように、繰り返すことで「忘れる量」が減っていきます。計画的に学習していけば、テスト前日の確認も有効なものになります。

② 関連づけて取り組む

「興味のある」ことや「知っている」と関連づけると忘れにくくなります。語呂合わせ（「いい箱（1185年）作ろう鎌倉幕府」など←先生たちの時代は「いいくに作ろう鎌倉幕府」でした）や言葉のリズム（「水金地火木土天海」←先生たちの時代は「水金地火木土天海冥」でした）なども有効です。

(3) テスト前に…

人間は「忘れる」生き物。テスト前にもう1回勉強するだけでは不十分。ましてや授業が終わった後何もしない、なんていうのはもってのほか。テスト前には、例えば、1週間前に学習して、前日にもう一度確認で見直す…のような周到な準備が必要なのです。そして、テストが返ってきたら解き直す！それで学習内容はバッチリ！？身につくように頑張りましょうね！